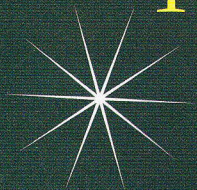


アンサンブル ノマド オランダ紀行

1



— 沈む陽のもと、

野と運河と、すべての街はあかねの色に、こがねに燃える。

— 世界は眠る、このあつい光のただ中に。

そこにすべては整いと美と 栄華と悦楽と静けさと。

旅への誘い『悪の華』 ボードレール 福永武彦訳

Ensemble Nomad

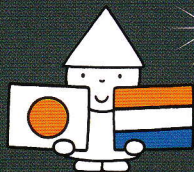
#33



2008年12月24日[水]19時
東京オペラシティリサイタルホール

一般 ¥3,000 / 学生 ¥2,000 / 中高生 ¥1,000

チケット・お問い合わせ
ticket@ensemble-nomad.com
東京オペラシティチケットセンター
03.5353.9999

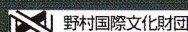


日本オランダ年 2008-2009
www.nihonoranda.jp
© Mercisbv

助成

オランダ王国大使館

ローム ミュージック ファンデーション
財団法人 野村国際文化財団



主催 | アンサンブル・ノマド

<http://www.ensemble-nomad.com>

ヤーコブ・ファン・アイク [1590 - 1657]: ダフネが最も美しい乙女だったとき
フルート 木ノ脇道元

ファン・ヴァッセナール [1692 - 1766] (新垣隆編曲): 協奏曲2番
チェンバロ 中川賢一 1stヴァイオリン 花田和加子 2ndヴァイオリン 小松美穂
ヴィオラ 甲斐史子 チェロ 菊地知也 コントラバス 佐藤洋嗣
フルート 木ノ脇道元 クラリネット 菊地秀夫

ヤーコブTV [1951-]: ニヴェア、ヘアー、スタイリング、ムース
ピアノ 稲垣聡 ヴィオリン 甲斐史子 チェロ 菊地知也

ヤーコブTV: ザ ボディー オブ ユア ドリーム
ピアノ 中川賢一 + テープ

ルイ・アンドリーセン [1939-]: ジルバー
フルート 木ノ脇道元 クラリネット 菊地秀夫 ヴァイオリン 甲斐史子
チェロ 菊地知也 マリンバ 宮本典子 ヴァイヴラフォン 安江佐和子
ピアノ 中川賢一 指揮 佐藤紀雄

ルイ・アンドリーセン: 悲歌
コントラバス 佐藤洋嗣 ピアノ 稲垣聡

トン・デ・レーウ [1926 - 1996]: ギターのための間奏曲
ギター 佐藤紀雄

ヴィレム・ランドレ [1874 - 1948]: リオバ [1905]
心に留めてください [1930]
ソプラノ 吉川真澄 ピアノ 稲垣聡

スヴェーリンク [1562 - 1621]: 東方の三博士
フルート 木ノ脇道元 クラリネット 菊地秀夫
1st ヴィオリン 花田和加子 2nd ヴァイオリン 小松美穂 ヴィオラ 甲斐史子
チェロ 菊地知也 コントラバス 佐藤洋嗣 ギター 佐藤紀雄
マリンバ 宮本典子 ヴァイヴラフォン 安江佐和子 チェンバロ 中川賢一

このコンサートでは「日本オランダ年2008-2009」を記念し、作家司馬遼太郎の名著「オランダ紀行」に倣ってオランダ音楽の4世紀を旅するプログラムを作りました。伝説のリコーダー奏者ヤーコブ・ファン・アイク、ネーデルランドきっての偉大なオルガニストスヴェーリンク、オランダ貴族作曲家ヴァッセナールの華麗にして優雅なコンチェルトなどがテクノやポップス、ジャズなどのスタイルを縦横無尽に取り入れた現代の音楽と混在するまさにオランダそのものを旅するコンサートです。ボードレールが讃えた19世紀オランダの街の魅力は今もって色褪せることなく輝き、アムステルダム運河沿いには中世から現代までの様々な音楽が交ざり合いながら響き合うそんなオランダを音楽によって旅してください。

- Ensemble Nomad -



- Guest artists -



安江佐和子



花田和加子



小松美穂



吉川真澄

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に取り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。1998年から毎年開催している定期演奏会のほか、ダンスとのコラボレーション、国内のさまざまな音楽祭やホールから招待されてきた。2002年度に行なった定期演奏会「ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は、大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダのカウデアムス音楽週間、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンボ」、2005年11月パリで行なわれた「フェスティバル・アテンボ」およびイギリスのハダースフィールド現代音楽祭、また2007年にはメキシコのモレリア音楽祭などで公演した。また、今年10月にはソウルで行われている「ワン・ムジック・フェスティバル」より招待されており、文化庁の助成によりソウルで2回、テグで1回の演奏会を持つ。今後もオーストラリア、オランダなどからの招聘が予定されている。今年5月に東京オペラシティ主催の『武満徹作曲賞』の最終審査会で演奏し、ただ一人の審査委員であるスティーヴ・ライヒ氏から“次はノマドと一緒に演奏会を開きたい”と絶賛された。

CDは、近藤譲「梶子」(ALCD-47)「空の眺め」(ALCD-57)、石田秀実「神聖な杜の湿り気を運ぶもの」(ALCD-60)のほか池辺晋一郎「炎の資格」(CMCD-28121)、福土則夫「花降る森」(CMCD-28128)が発売されている。

東京オペラシティ
リサイタルホール B1F
アクセスマップ



初台駅 東口

京王新線 初台駅 東口 下車

*お車でご利用のお客様は、駐車料金が1時間無料となる専用スペースがございます。

東京オペラシティ
〒163-1403
東京都新宿区西新宿 3-20-2

フルート 木ノ協道元 クラリネット 菊地秀夫
ヴァイオリン/ヴィオラ 甲斐史子 チェロ 菊地知也 コントラバス 佐藤洋嗣
マリンバ 宮本典子 ピアノ 稲垣聡 ピアノ/チェンバロ 中川賢一
ギター/指揮 佐藤紀雄
*
音響 有馬純寿 デザイン 岩井亜希子

34回定期演奏会 - オランダ紀行 2 -

2009年3月2日[月] 六本木スーパーデラックス

35回定期演奏会 - パリ〜東京〜パリ〜 ある英雄の肖像

2009年10月14日[水] オペラシティ・リサイタル・ホール

36回定期演奏会 - 春! ヤング・アメリカ

2010年1月31日[日] オペラシティ・リサイタル・ホール